

## 応募書類の記入要領

### (様式Ⅰ－１) 概要表

- (1)「課題名」の欄には、目的・手法などを簡潔に示す課題名を30字以内で記述して下さい。
- (2)「概要」の欄には、提案される課題の内容を200字以内で簡潔に記述して下さい。
- (3)「研究対象分野」の欄は、公募要領本文を参考にして、以下の①～⑦のどの分野に応募するかを記入して下さい。
  - ①新産業・新事業創出
  - ②食品産業の競争力強化推進
  - ③新たな病虫害・雑草管理推進
  - ④農業構造改革加速化促進
  - ⑤地域材利用拡大推進
  - ⑥健全な森林力増進
  - ⑦水産業構造改革加速化促進さらに、①の「新産業・新事業創出」に応募される方は、以下の副分野についても記入して下さい。
  - ・バイオテクノロジー
  - ・新素材
  - ・情報処理（IT）
  - ・ロボット
  - ・その他農林水産業関連
- (4)「提案機関」の欄には、申請者の代表機関を記述して下さい。連携機関や共同提案機関は記述不要です。
- (5)「支援機関」の欄には、技術開発を支援する機関を必ず記述して下さい。
- (6)本資料はA4用紙1枚で作成して下さい。

### (様式Ⅰ－２) 企業概要表

- (1)「課題名」の欄は、様式Ⅰ－１の課題名をそのまま記述して下さい。
- (2)本資料はA4用紙1枚で作成して下さい。

### (様式Ⅱ) 課題提案書

#### 1. 提案機関名

- (1)提案できるのは、国内の民間企業等（鉱工業技術研究組合等を含む）とし、大学や独立行政法人等は含みません。
- (2)他の民間企業等と共同提案する場合は、該当する民間企業等の名称を列記して下さい。この場合、窓口となる代表機関名（様式Ⅰ－１に記載した提案機関と同一）には下線を付して下さい。

## 2. 技術開発課題名

- (1) 様式 I - 1 に記載した課題名をそのまま記述して下さい。
- (2) 他の民間企業等と共同提案する場合は、共通する課題名とそれぞれが担当する技術開発に対応する副課題名を記入して下さい。

## 3. 技術開発の要旨

- (1) 様式 I - 1 に記載した提案課題の「概要」をそのまま記述して下さい。
- (2) ここで記述して頂いた要旨は、当該提案課題の採択が決定された場合、ホームページ等において公表する予定ですので、公表を前提とし、知的所有権等に配慮した内容として下さい。

## 4. 研究対象分野

様式 I - 1 に記載した提案課題の「研究対象分野」と同じ分野の欄を黒塗り ■ して下さい。研究対象分野の①「新産業・新事業創出」に応募される方は、様式 I - 1 に記載した副分野を記入して下さい。

## 5. 研究期間

1年、2年、3年のいずれかの欄を黒塗り ■ して下さい。

## 6. 大学、独立行政法人等の公的研究機関との連携

- (1) 「連携する研究機関名及び連携内容」の欄には、連携予定の大学や独法等の公的研究機関の研究機関名、研究者名、連携内容（委託、技術指導等）を記入して下さい。
- (2) 提案時点で、研究者まで明記できない場合は、協力を求める研究内容のみ記入して下さい。この場合、課題の採択後、技術開発を支援する機関（12を参照）との調整の下、選定して頂きます。
- (3) 「大学、独立行政法人等の所有する技術シーズの有無」の欄には、本課題で核となる技術シーズがあれば、提供を受ける機関名、技術シーズの内容、特許番号等を記入して下さい。

## 7. 技術開発の説明

- (1) 「技術開発の背景、必要性」
  - ① 提案課題に関連した技術開発の動向・知見（提案機関以外のものも含む）を記述するとともに、技術開発を進める上で、関連する技術シーズや知見をどのように活用していくかを記述して下さい。
  - ② さらに、提案課題の技術開発の必要性やポイント、手法等を簡潔に示して下さい。
  - ③ 本課題の中で複数の技術開発に一体的に取り組む必要がある場合はその内容、理由を記入して下さい（審査の結果、必要と認められる場合は、上限国費について弾力的に運用します）。
  - ④ 他の民間企業等と共同提案する場合は、どのようなメリットがあるかを記述して下さい。
- (2) 「技術開発の目標」

技術開発の目標について記述して下さい。

(3) 現在の技術開発の段階

①本技術開発の提案に当たり、提案機関において得られている知見及び基礎的、応用的な研究成果を記述して下さい。

②提案機関における研究経過の概要のほか、提案機関以外（共同提案機関、委託予定の大学・独法等）のものも含めて、区別した上で記述して下さい。

(4) 「新規性、革新性、先導性等」

研究課題の新規性、革新性、先導性等を科学的技術的観点から記述して下さい。

(5) 「得られる成果やその活用分野、効果等」

技術開発から具体的にどのような成果が得られるのか記述して下さい。また、得られた成果がどのような事業に活用されるのか、さらに、事業化した場合の市場性や、波及効果について記述して下さい。

8. 関連する特許状況（先行特許等）

本技術開発に関連する特許、先行特許等の情報を分かる範囲で記入して下さい。

9. 技術開発の実施場所

(1)実施場所の名称及び住所を記入して下さい。複数箇所で行う場合はそれぞれにつき併記して下さい。

(2)他の民間企業等と共同提案、大学・独法等へ委託を行う場合についても、該当する実施場所をそれぞれ記入して下さい。

10. 研究代表者

(1)～(5)を様式に沿って記入して下さい。

11. 技術開発担当者名

(1)提案機関における技術開発を担当する研究者（ポストドクターを含む）の氏名及び略歴を記入し、研究代表者の氏名の前に○印を付けて下さい。

(2)他の民間企業等と共同提案、大学・独法等へ委託を行う場合についても、該当する技術開発担当者の氏名及び所属機関を記入して下さい。また、各機関ごとに研究責任者を決めて頂き、氏名の前に○印を付けて下さい。

(3)各技術開発担当者の氏名の後に研究専従率（エフォート；当該研究開発の実施に必要なとする時間の配分率（％）。年間の仕事を100％とする）を記入して下さい。

(4)研究参画機関ごとに、研究代表者（責任者）の経歴等について、様式IV「研究者の経歴等」に必要事項を記入して下さい。

12. 技術開発を支援する機関

(1)技術開発を支援する機関は、農林水産関連分野における先端技術に関する試験研究に精通し、産学官との太いパイプをもち、研究成果の普及等を行う機関である必要があります。これらを踏まえ支援機関の選定理由を記入して下さい。

(2)この機関と連携することで、産学官の調整、専門スタッフによる技術指導、成果

の普及等により本技術開発を効率的に推進し、また、書類等の作成に当たり、提案機関の負担を軽減することが可能です。

### 13. その他

その他、この課題を是非採用すべきとアピールする点等について記述して下さい。

## (様式Ⅲ) 研究実施計画書

### 1. 概要

様式Ⅰ－１に記載した提案課題の「概要」をそのまま記述して下さい。

### 2. 目標

様式Ⅱに記載した「目標」について、簡潔に記述して下さい。

### 3. 研究期間

様式Ⅱに記載した「研究期間」を記入して下さい。

### 4. 事業の実施内容

#### (1) 研究項目

- ① 研究年度ごとに、本提案課題において取り組む項目を挙げ、その研究計画と具体的方法を記入して下さい。
- ② 他の民間企業等と共同提案、大学・独法等へ委託を行う場合は、その担当内容が分かるように記入して下さい。

#### (2) スケジュール

研究年度ごとに、「研究項目」のスケジュールを記入して下さい。

### 5. 技術開発費

- (1) 本技術開発に要する経費について、研究年度、負担区分（国庫補助金（国費）、自己資金）、合計を記入して下さい。

(例)

	計	負担区分		備考（補助率）
		国庫補助金	自己資金	
18年度	30,000 千円	15,000 千円	15,000 千円	1 / 2
19年度	28,000 千円	14,000 千円	14,000 千円	1 / 2
20年度	25,000 千円	12,500 千円	12,500 千円	1 / 2
合計	83,000 千円	41,500 千円	41,500 千円	

また、研究予算積算表には、研究年度のおおまかな研究予算について千円単位で記入して下さい。

- (2) 対象とする経費は、公募要領3の（2）の①に掲げるものとします。
- (3) 課題の審査結果等により希望額に満たない場合があります。

#### (様式Ⅳ) 研究者の経歴等

- (1) 提案機関については研究代表者、また、研究に参画する共同提案機関、連携予定の大学や独法等の公的研究機関についてもそれぞれ研究責任者を決めて頂き、研究代表者または研究責任者ごとに必要事項を記入して下さい。
- (2) 5. ②、③の他の競争的研究資金、その他外部資金については、既に獲得しているもののみならず、申請中のものも含め記入して下さい。また、申請中の場合は（申請中）と記入して下さい。
- (3) 本資料は各研究代表者（責任者）について、それぞれA4用紙2枚以内で作成して下さい。

#### ○申請書の提出に当たっての注意事項

1. 申請書は課題ごとに様式に沿って、A4片面で印刷し必ず通しページを下段中央に付して下さい。提出ページ数には制限はありませんが、図表等を用いて分かりやすく記述して下さい。（2部提出）
2. 申請書以外に補足参考資料を添付してもかまいません（2部提出）。
3. 申請書と共に提案機関（共同提案機関を含む）及び技術開発を支援する機関の概要がわかる資料（パンフレット等）を提出して下さい（2部提出）。
4. 申請書を郵送する場合は、封筒に「課題申請書在中」と朱記して下さい。
5. なお、課題の提案に当たっては、技術開発を支援する機関と十分調整を行った上で、申請書を作成し、提出して下さい。

以上